

岩内町総合戦略 進捗状況

平成30年3月

基本目標1 安定した雇用の創出

重点項目①：安定的な漁業生産及び漁業所得の向上による地域の活性化と雇用創出を図る

- ナマコ種苗生産施設整備等による生産基盤の強化
- 水産資源保護に向けた密漁監視などの対策強化

<ナマコ種苗生産施設整備事業>

- 資源増殖事業として高騰が著しいナマコについては、漁獲制限などを行い資源維持・増大を図る取組を継続的に推進する。
- 漁家経営がさらに厳しさを増す中、ナマコ種苗生産施設を整備し、生産した種苗の放流による資源維持・増大及び種苗の販売による所得の増加を図る。

進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手

<企画産業課(水産担当)> <地場産業サポートセンター>

施設整備の前段として、地場産業サポートセンターにおいてナマコの種苗生産技術の習得に取り組んでおり、引き続き技術の習得に努める。

H29予算額	207千円	H29決算見込	139千円	H28決算額	240千円
--------	-------	---------	-------	--------	-------

KPI	H26基準数値	ナマコの水揚金額	96,927千円
	H31目標数値	ナマコの水揚金額	350,000千円
	H29見込数値	ナマコの水揚金額	160,684千円

<岩宇3町村や民間との協働事業>

- 岩宇3町村は、各漁協及び水産関係機関と連携し、ナマコやウニ増養殖方法の確立や水産物の輸出などを目的とした地域活性化協議会を設立する。
- 漁協がナマコやウニの生産方法確立を行うほか、地域商社がブランド化やマーケティング、海外販路開拓などの事業や、道内大手流通業者、宿泊業者、加工業者との連携を進める。
- 金融機関のノウハウやマーケティング等各方面と連携し、海外の拠点を通じて現地法人とのビジネスマッチングの機会を創出し、企業向け輸出の拡大を図る。

<地域間の連携強化>

- ニセコエリアの海外観光客向けの販売体制の確立をはじめとする国内の販売強化を図る。
- 保税区(保税倉庫)を活用したナマコ輸出促進事業を検討する。
- 中国国内消費者に対して海外通販もできる仕組みづくりを検討する。

<蓄養によるウニの立て直し事業>

- 磯焼け漁場の身入りの悪いウニを籠で短期蓄養し、単価の高い端境期の出荷を目指す。
- 地域商社によるニセコエリアの外国人観光客向け販売先の調査を実施し、安定的に高価格で販売できる体制づくりを構築する。

進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手

<企画産業課(水産担当)>

平成29年10月、神恵内村、泊村、岩内町の3町村が出資し、「株式会社キットブルー」を設立。3町村は地域商社の運営に係る費用を補助し、マーケティング事業の拡大を図る。

積丹半島地域活性化協議会は、研究機関や日本海沿岸域町村を招き、増養殖事業の成果をとりまとめた発表会を開催し、事業の横展開を図る。

2漁協が実施する稚ナマコの放流やウニの蓄養試験の事業費補助金を、各町村から漁協に交付。

【町の事業費内訳】

・積丹半島地域活性化協議会負担金	1,000千円
・岩内郡漁協ナマコ等増養殖実証事業費補助金	17,900千円
・地域商社負担金	10,000千円
・地域商社出資金	2,000千円

【交付金財源】

・地方創生推進交付金	15,450千円(補助率50%)
------------	------------------

H29予算額	30,900千円	H29決算見込額	30,900千円	H28決算額	31,091千円
--------	----------	----------	----------	--------	----------

<水産資源保護のための密漁監視システム対策事業>

- 近年、単価の高い浅海資源(ウニ・アワビ・ナマコ等)は、潜水で容易に採捕できることから、特に単価の高いナマコに関する密漁被害が深刻化している。
- 特に大規模な密漁事案は非社会的組織により組織的に行われており、手口も悪質・巧妙化していることから、監視活動をより強化することが必要となっている。
- これまでの漁業者の自主的な監視活動では負担が大きく、更なる体制強化は困難なことから、密漁防止対策強化のため漁場監視カメラを整備し、密漁が行われる夜間を含め24時間監視を実施する。

進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手

<企画産業課(水産担当)>

平成28年度整備済。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	19,904千円
--------	---	----------	---	--------	----------

KPI	H26基準数値	被害予想金額	50,000千円
	H31目標数値	被害予想金額	25,000千円
	H29見込数値	被害予想金額	37,000千円

重点項目②: 岩内海洋深層水の利活用促進を図る

●岩内海洋深層水の利活用による特産品などの多面的開発

<特産品等を活用した新商品開発支援事業>

- 特産品である「身欠きニシン」、「深層水」、「前浜の原料魚」などを活用し、付加価値の高い商品づくりを支援する。
- 地元企業が、商品開発しやすい環境を整えるため、ソフト面では「衛生管理・商品開発セミナーの開催」、「食品加工の技術支援」など、ハード面では「貸出用加工機器の整備」などを実施する。
- 近年、近隣町村の若手農家との交流もあり、深層水と農産品を使用した商品(レトルトウキビなど)の試作なども推進する。

進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手

<地場産業サポートセンター>

○特産品を活用した商品づくり支援

* 身欠きニシン

北海道立総合研究機構(中央水産試験場、食品加工研究センター)と連携し、開きのレトルト加工品と、地元飲食店より要望がある甘露煮のレトルト加工品を試作。

* 前浜の魚

地元水産加工企業より要望を受け、アワビのレトルト加工品を試作。

* 岩内産調理用トマト

ペースト状の加工品を試作。

○商品開発環境の整備

* いわない食品工業研究会

・「HACCPセミナー」(5回)、「商品開発セミナー・相談会」(2回)を開催。

・札幌市・江別市の工場視察研修を実施(3月)。

・サポートセンター加工実験室の衛生環境整備(試験に使用する手袋・帽子など消耗品等の整備)。

・会報誌の発行(3回)。

* 商品開発を行う企業に対し、北海道中小企業団体中央会や中小企業庁の補助制度を紹介し、商品開発を支援。

H29予算額	873千円	H29決算見込額	873千円	H28決算額	622千円
--------	-------	----------	-------	--------	-------

KPI	H26基準数値	商品開発	3件、商品化	0件
	H31目標数値	商品開発	15件、商品化	5件 (H27～H31累計)
	H29見込数値	商品開発	22件、商品化	3件 (H27～H31累計)

<深層水の一般家庭流通環境整備事業>

- 常温保存可能なペットボトルの試作を実施する。
- 将来的に、民間企業での製造・販売に移行できるよう試作したペットボトルについては、安全性の確認や価格の検証、「試供による需要の掘り起こし」なども実施する。
- これにより、一般家庭での深層水利用拡大とペットボトル製造業者の創出を狙う。

進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手

<地場産業サポートセンター>

○休日開館の実施(平成28年度より着手)

- * 利便性の向上・観光客への対応を目的とした休日開館(土日祝祭日の10時～15時)を、平成29年5月～10月に実施。

○深層水だよりの発行(平成29年度より着手)

- * 深層水の効能や利用方法などの情報を解りやすく紹介することで、町内外における利用者の増加を図る。

[発行回数] 4月号より毎月発行

○深層水フリードリンクコーナーの設置

- * 町内施設のイートインスペースに深層水フリードリンクコーナーを設置。

[設置箇所] 町内3施設

○深層水の利用・認知度拡大を目的としたイベントの開催及び参加

- * 深層水まつり(2回)、深層水を活用した食品試食会(3回)、味覚市、北海道日本ハムファイターズの「北海道スマイルキャラバン」、軽トラック市などにおいてPRを実施。

H29予算額

458千円

H29決算見込額

458千円

H28決算額

151千円

KPI	H26基準数値	一般家庭利用料	400千円(※小口分水の売上げ)
	H31目標数値	一般家庭利用料	820千円 (※小口分水、及びペットボトル製造のための水の使用料)
	H29見込数値	一般家庭利用料	532千円

<深層水の効果検証事業>

- 深層水の効果を立証することにより、既存利用企業の商品価値の向上及び新規利用企業の拡大を図る。
- 既存利用者からのヒアリングを基に、酪農業、農業、化粧品等の分野での試験を実施する。
- 専門機関等の分析により深層水の優位性を検証し、製造量の規模によっては、化粧品の分野などの工場誘致も期待できる。

進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手

<地場産業サポートセンター>

* 酪農 酪農業者1軒で、「乳牛」の深層水飲用効果を検証中。

* 農業 「メロン」栽培試験では果実への効果は確認できなかったが、葉色の改善が確認されたとの声もあるため、来年度、再度効果を検証。

* 水産 「塩数の子」の品質確認試験について一部を残し分析が終了。分析結果のまとめを業者に委託中であり、リーフレットで情報発信する。

「塩水ウニ」の日持ち試験について、今年度は効果が確認できなかったが、来年度、試験方法を変更した上で、再度実施。

「ホタテ」の活力測定試験について、余市中央水産試験場と連携し、試験実施に向けた打合せ(手法等の検討)を進めている。

「アワビ」蓄養試験について、殻長、重量などの成長データを蓄積し、深層水活用による効果の検証を進めている。

H29予算額	1,023千円	H29決算見込額	1,023千円	H28決算額	1,887千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

KPI	H26基準数値	利用数	酪農	1軒、農業	3軒、化粧品	2軒
	H31目標数値	利用数	酪農	20軒、農業	15軒、化粧品	5軒
	H29見込数値	利用数	酪農	1軒、農業	12軒、化粧品	5軒

<深層水の試験利用事業>

- 企業等が深層水の利用に至るまでには、効果を実感できる一定の使用期間が必要だが、運搬体制の整備により、ある程度の利用拡大が可能となっている。
- 利用拡大により町内の飲食店や商品の付加価値の向上が図られるなど、近隣町村を含め経済波及効果が期待できる。

進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手 <地場産業サポートセンター>

- * 深層水の利用拡大を図るため、町内外の企業に深層水ペットボトルを無料配布し、併せて意見・要望等の聞き取りを実施。
 [町内] ホテル、美容室、菓子店
 [町外] ホテル、食品企業
- * 既存の深層水利用企業からの情報収集(来館時の聞き取りなど)。
- * 町内深層水利用店を紹介するマップの作成(予定)。
- * 需要掘り起こしのため、札幌圏の企業にペットボトルの試供を実施。美容室などへの販売に向けたペットボトルの製造を検討する企業の出現が確認されている。

H29予算額	50千円	H29決算見込額	50千円	H28決算額	2,453千円
--------	------	----------	------	--------	---------

KPI	H26基準数値	利用登録企業数	176社
	H31目標数値	利用登録企業数	226社
	H29見込数値	利用登録企業数	244社

<施設機能拡大の検証及び強化事業>

- 町営の試験研究施設「地場産業サポートセンター」は、「深層水の販売」、「新商品の開発支援」、「食品の安全確認検査」など多機能を有する施設となっている。
- 立地環境としては、工業団地内にあること、電源立地周辺地域であることから食品製造業を中心としたものづくり企業の支援・誘致が可能である。
- 地元の子どもたちや観光客の体験施設としての要望もある。
- 施設の有する「ヒト・モノ・カネ」を活用し、最大限に地域貢献できる方法を見いだすため、専門家による事業評価・経営手法を取り入れるなどして、検証・実践する。

進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手 ＜地場産業サポートセンター＞

○地場産業サポートセンターをPR施設として活用するため、地元小中学生や高校生、観光客などの受入を実施

*小学生 [総合学習授業] 西小学校 48名(6/8)、東小学校 40名(10/26)
[岩宇子ども交流プログラム(岩宇まちづくり連携事業)]

岩宇地域小学生 58名(8/8)

*中学生 [岩宇子ども交流プログラム(岩宇まちづくり連携事業)]

岩宇地域中学生 9名(7/26)

*高校生 [インターンシップ] 岩内高校 2名(11/8～11/9)

*その他 長沼町議会 14名(6/22)、美唄市農家 13名(10/27)、観光客などの受入

○国や道の補助金など外部支援事業の紹介

*中小企業診断士による企業相談4社、工場増設1社、設備導入補助金3社、合計8社に対して支援。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	1,142千円
--------	---	----------	---	--------	---------

KPI	H26基準数値	地場産業サポートセンターの経常利益	▲15,000千円
	H31目標数値	地場産業サポートセンターの経常利益	0千円
	H29見込数値	地場産業サポートセンターの経常利益	▲7,500千円

重点項目③: 岩宇地域4町村広域での若年労働者の就労支援、定着促進を図る

●研修や資格取得などによる若者労働者の就労支援

○岩宇地域は同一経済圏であることから、若年層等が就業できる事業所が多い岩内町で若年者や子育てで離職している女性を対象に、就労に向けた基礎研修や経済団体・就労支援機関と連携し、職場研修などを実施する。

○受講者のために資格取得を幅広く実施し、若年層等の就労の定着を促進する。

進捗状況

[着手状況] 着手時期未定 ＜企画産業課(商工労働観光担当)＞

財源確保を検討しながら今後の実施を検討。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—
--------	---	----------	---	--------	---

KPI	H26基準数値	—
	H31目標数値	研修受講者の就職数 6人
	H29見込数値	—

重点項目④: 地域資源を活用した特産品の開発支援体制を整備し、特産品の開発と地域の雇用を促進する

●特産品開発支援体制の充実

＜地域資源の活用による安定した人材確保と雇用創出に向けた戦略＞

- 身欠きニシンを活用した商品開発及びブランド化(加熱加工品、調味加工品、調味料等)を図る。
- 身欠きニシンを活用したご当地グルメの開発(地元でしか食べられない、買えない商品づくり、地元飲食店とのタイアップ)を行う。
- ふるさと納税(返礼品)とタイアップした新たなマーケットを開拓(商品開発及び商品PR)する。
- 日本海ニシン稚魚放流事業を展開する。
- 地域イベントにおけるニシン文化、ニシン商品のPRを行う。

進捗状況

[着手状況] 平成25年度より着手 ＜地場産業サポートセンター＞

- 身欠きニシン等を活用した商品開発及びブランド化(平成29年度着手)
 - * 「ふるさと名物応援宣言」による身欠きニシンの商品開発やブランド化の加速化を支援。
- 地域イベントにおけるニシン商品のPR
 - * 身欠きニシン加工品(ニシンサンド、ニシン串)を町民・観光客に提供できるよう地元高校や関係団体による商品化・PRを支援。
- ふるさと納税返礼品向け商品の拡大支援(平成29年度着手)
 - * 総務担当と連携し、新規2社登録。

H29予算額	-	H29決算見込額	-	H28決算額	-
--------	---	----------	---	--------	---

[着手状況] 平成28年度より着手 ＜総務財政課(総務担当)＞

- ふるさと納税とタイアップした新マーケット開拓
 - * 返礼品付きふるさと納税の導入

平成28年6月導入以来、平成29年11月末時点で件数4,975件、金額62,290千円の寄附受領。寄附者に地元特産返礼品を贈呈し、寄附金額の約3～4割に相当する、約22,000千円の返礼品代金が登録事業者に支払われている。
 - * 登録事業者及び登録返礼品目数

当初の16事業者40品目から、平成29年11月末時点で23事業者77品目に拡大。ホテル・旅館宿泊券が健闘しており、町を訪れる機会の創生が図られている。
 - * 既存商品の新規マーケット開拓

既存特産品の「数の子」について、地域消費の限界を感じていたが、ふるさと納税を通じた正月用プロモーションの結果、予想以上の反響があり、導入以来、「数の子」をメインとした返礼品については、平成29年11月末時点で件数1,486件、金額16,536千円を受付。これは従来なかったマーケットであり、事業者からも生産量の増加やプロモーションの強化が提案されている。

H29予算額	40,648千円	H29決算見込額	35,670千円	H28決算額	43,243千円
--------	----------	----------	----------	--------	----------

[着手状況] 平成20年度より着手

＜企画産業課(水産担当)＞

○ニシン稚魚放流事業

ニシン資源の増大を目的に継続実施。事業内容は、ニシン親魚の確保、採卵、育成(委託買取)、稚魚放流、追跡調査など。実施主体は、岩内町が事務局を務め、南後志の町村・漁協で構成する「後志南部地域ニシン資源対策協議会」。

H29予算額	1,316千円	H29決算見込額	1,316千円	H28決算額	1,316千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

[着手状況] 平成23年度より着手

＜企画産業課(商工労働観光担当)＞ ＜地場産業サポートセンター＞

○地域イベントにおけるニシン商品PR

怒涛まつりのブースで串焼きやニシンサンドを販売・PRし、地元業者の商品化を推進。

〔事業費は怒涛まつり実行委員会の予算
町より実行委員会へ事業費補助あり〕

H29予算額	230千円	H29決算見込額	230千円	H28決算額	230千円
--------	-------	----------	-------	--------	-------

KPI	H26基準数値	水産加工品	30品目
	H31目標数値	水産加工品	40品目(新規商品開発 10品目)
	H29見込数値	水産加工品	33品目(新規商品開発 3品目)

基本目標2 新しい人の流れをつくる

重点項目①: 観光や移住促進に向けた連携体制の強化を図る

●豊かな自然を活かした観光や移住促進に向けた連携体制強化

- ニセコエリアをターゲットとした日本海の海の幸「食」を軸とした広域観光を推進(食のブランド化、ふるさと納税の推進)する。
- キャットツアー、登山、シーカヤック等「アクティビティ」を軸とした広域アウトドア型観光を推進する。
- 地域住民の余暇を活かしたボランティアガイドスタッフ制度の基盤を整備(ワーク・ライフ・バランスの推進、地域マンパワーの活用)する。
- ふるさと納税(返礼品)とタイアップした新たなマーケットを開拓(滞在型商品の開発とPR)する。
- 地域資源のブラッシュアップや滞在時間の延長、通年アクティビティの開発、観光に特化した人材育成、周辺エリアからの誘導などの課題がある。

進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <企画産業課(商工労働観光担当)>

○「食」の広域観光推進 [1]

平成28年5月に岩宇4町村で設立した「岩宇まちづくり連携協議会」で、地場産品を活用した食のブランド化を推進する事業を実施。

①地場産品物販イベントの開催

[開催日] 12/21・12/22

[会場] ポールスター札幌

②岩宇グルメコンテスト・グランプリ「イモナンデス」のPR活動

- ・共和町かかし祭り、神恵内村沖揚げ祭りでの試食・アンケート
- ・札幌市洋食店での試食・アンケート

【町の事業費】

- ・岩宇まちづくり連携協議会負担金 5,000千円
(負担金は総額であり他事業分も含む。以下、協議会事業は同様)

【交付金財源】

- ・地域づくり総合交付金 5,000千円(補助率100%)

H29予算額	5,000千円	H29決算見込額	5,000千円	H28決算額	4,700千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

[着手状況] 平成25年度より着手 <企画産業課(商工労働観光担当)>

○「食」の広域観光推進 [2]

* 岩宇4町村で構成する「岩宇4ヶ町村地域振興連絡協議会」において、「北のアメ横2017」や「HTBイチオシ!まつり」などのイベントで、岩宇食材のPRを実施。

* 「地域のプロジェクト」(経済産業省支援事業)においてパンフレットの配布を実施。今後もニセコエリアを中心としたPR事業の展開を検討中。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—
--------	---	----------	---	--------	---

[着手状況] 平成19年度より着手ほか <企画産業課(商工労働観光担当)>

○キャットツアーなど広域アウトドア型観光の推進

* 「Iwanai Resort」のキャットツアーなど、アウトドア観光の推進を支援(平成19年度から平成29年3月まで岩内町地域振興協会が実施)。

* グランピング体験イベントの開催 [岩宇まちづくり連携協議会事業]

H29.7月に、いわないオートキャンプ場マリレビューで、豪華なキャンプ「グランピング」の体験イベントを開催。地場の食材の料理試食会も実施(平成28年度より着手)。

H29予算額	5,000千円	H29決算見込額	5,000千円	H28決算額	4,700千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

[着手状況] 平成27年度より着手 <企画産業課(商工労働観光担当)>

○ボランティアガイドスタッフ制度の基盤整備

観光ボランティアガイドの育成として、観光協会が任命した観光マイスターによる観光案内を実施。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—
--------	---	----------	---	--------	---

[着手状況] 平成28年度より着手						<総務財政課(総務担当)>					
<p>○ふるさと納税とタイアップした新マーケット開拓 基本目標1・重点項目④<地域資源を活用した特産品の開発支援体制を整備し、特産品の開発と地域の雇用を促進する>の進捗状況のとおり。</p>											
H29予算額		40,648千円		H29決算見込額		35,670千円		H28決算額		43,243千円	
[着手状況] 平成29年度より着手						<企画産業課(商工労働観光担当)>					
<p>○通年アクティビティ開発・観光人材育成 民間企業による通年アクティビティの開発や観光分野の人材育成を支援。</p>											
H29予算額		-		H29決算見込額		-		H28決算額		-	

KPI	H26基準数値	観光入込数	451,500人
	H31目標数値	観光入込数	500,000人
	H29見込数値	観光入込数	420,000人

重点項目②: 観光・交流人口の拡大・促進を図る

●観光・交流人口拡大に向けた様々な取り組みの展開

<国内観光客の地域体験観光ルート開発>

- 北海道新幹線の開業や北海道横断自動車道(共和・余市間)の早期開通により、今後の地域間交流の活性化が期待できる。
- 観光客の岩宇地域への誘致を図り、岩宇4町村とそれぞれが有する独自の歴史文化や暮らしを体験し、地域の魅力を感じてもらうことで観光振興を図る。
- そのための受け皿となる広域的な組織を町民と連携し育成する。

進捗状況											
[着手状況] 平成28年度より着手						<企画産業課(商工労働観光担当)>					
<p>「岩宇まちづくり連携協議会」による事業で、岩宇地域が一体となった観光地域づくりを実現するためのDMO組織の設立に向けた、人材の発掘や先進地視察、滞在・交流プランの企画・開発などを実施。</p>											
H29予算額		5,000千円		H29決算見込額		5,000千円		H28決算額		4,700千円	

KPI	H26基準数値	年間宿泊人数	113,800人
	H31目標数値	年間宿泊人数	125,000人
	H29見込数値	年間宿泊人数	96,000人

<道の駅機能強化事業>

- 道の駅の活性化を図って観光振興につなげるため、先進事例の調査や観光情報などの発信、深層水といった特産品等の活用を再検討する。
- 道の駅とその周辺地域の再整備や、各観光施設や商店街などと連動した取り組みについても地域住民や民間団体等と協働する。

進捗状況					
[着手状況] 平成27年度より着手			＜企画産業課(商工労働観光担当)＞		
道の駅の建替えを含め、既存施設の活用と市街地との関わり方や今後の道の駅のあり方について、平成28年度に設置された「岩内町道の駅検討会」をはじめ、観光協会などの関係団体と協力してセミナーを開催し、事業の推進を図る。					
[開催日・会場] 平成30年3月末 岩内地方文化センター					
H29予算額	180千円	H29決算見込額	60千円	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	道の駅年間訪問者数	85,000人
	H31目標数値	道の駅年間訪問者数	120,000人
	H29見込数値	道の駅年間訪問者数	95,000人

<観光振興と連動した商店街の活性化>

- 各種の観光振興策を推進することで、中心市街地に賑わいを創出し、商店街の活性化を図る。また、空き店舗活用支援事業費補助金を新たに創設し、空き店舗を活用して起業する事業者を支援する。

進捗状況					
[着手状況] 平成28年度より着手			＜企画産業課(商工労働観光担当)＞		
商店街の空き店舗を活用して事業を始める場合に、店舗の家賃や改修・整備費の一部を補助する「空き店舗活用支援事業補助金」の継続実施。					
H29予算額	3,200千円	H29決算見込額	3,200千円	H28決算額	0千円

KPI	H26基準数値	空き店舗解消数	—
	H31目標数値	空き店舗解消数	5件
	H29見込数値	空き店舗解消数	3件

<外国人観光客の岩宇地域周遊コース開発>

- ニセコ、倶知安方面に長期滞在している外国人観光客等に対して、日本の地方文化や暮らしを体験し、地域の魅力を感じてもらうための受け皿となる広域的な組織を町民と連携し育成する。

進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <企画産業課(商工労働観光担当)>

○岩宇地域を巡る外国人モニターツアーの実施[岩宇まちづくり連携協議会事業]

- ①岩内神社例大祭ツアー (平成29年 7月 4名参加)
- ②岩宇【夏】滞在・交流プラン (平成29年 7月 4名参加)
- ③岩宇【秋】滞在・交流プラン (平成29年10月 4名参加)
- ④岩宇【冬】滞在・交流プラン (平成30年 2月 4名参加)

H29予算額	5,000千円	H29決算見込額	5,000千円	H28決算額	4,700千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

<外国人観光客への岩宇の物産と地域のPR>

- 台湾観光客へ岩宇の物産と地域PRを行うため、台湾に雪を運び込み、雪国のイメージをPRする。
 - ・地域の場所、交通アクセス、もてなしのツアー
 - ・冬のイメージ:スキー場、吹雪、荒れた日本海
 - ・夏のイメージ:穏やかな日本海、海に沈む夕日、釣り、漁船
 - ・岩宇ヒストリー(岩宇地域の歴史的成り立ち、茅沼炭鉱、岩内場所)の紹介など
- 岩宇地域の物産品の展示、試食、即売会を行うことで、地域の魅力をPRし、台湾からのインバウンド観光を促進する。
- 外国人観光客の受入体制を強化する。
 - ・外国人受入講座の開催
 - ・Wi-Fiや外国語観光案内板の整備
 - ・クレジットカード決済の推進

進捗状況

[着手状況] 平成25年度より着手ほか <企画産業課(商工労働観光担当)>

岩宇まちづくり連携協議会による外国人のモニターツアーや「地域のカプロジェクト」による食材PRのとおり。

H29予算額	5,000千円	H29決算見込額	5,000千円	H28決算額	4,700千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

KPI	H26基準数値	年間外国人宿泊人数	60人
	H31目標数値	年間外国人宿泊人数	100人
	H29見込数値	年間外国人宿泊人数	200人

<国際化教育推進事業>

- 後志管内ではニセコなどを中心にスキーリゾートとして世界的に高い評価を得ており、長期滞在する外国人観光客等が増加している。リゾート関連企業や観光産業において、地元の地理や風土に精通し語学力のある人材が多く求められていることから、北海道や管内市町村との連携を図りながら、グローバルな人材育成を進めるため、外国人のALTを配置し、国際化教育を推進する。

進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <教育課(学校教育担当)>

○ALT(外国語指導助手)講師による英語授業の実施
町内の中学校全学年及び小学校5、6年生を対象に、グローバルな人材育成を進めるため、外国人のALT講師を派遣。

H29予算額	4,047千円	H29決算見込額	4,047千円	H28決算額	4,143千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

KPI	H26基準数値	英語検定合格者3級以上	6人
	H31目標数値	英語検定合格者3級以上	15人
	H29見込数値	英語検定合格者3級以上	6人

重点項目③: 交流の場の創生による「ひとづくり」の促進を図る

- 魅力あるまちづくりの基盤となる「ひとづくり」の促進
- 将来の人口減少を踏まえた地域間交流の促進

- 町内異業種交流研修を実施(魅力あるまちづくりの基盤となる官民協働によるひとづくりの促進)する。
- 政策及び合意形成能力開発研修への助成事業(官民協働による人材能力研鑽に対する助成事業)を行う。
- 地域間交流先進地事例研修を実施(官民協働による先進地視察研修)する。
- UIJターン人材の連携支援及び職種マッチング(企業後継者や移住者の連携)を行う。
- 広報広聴技術研修を実施(効果的情報発信及び情報収集のスキルアップ研修)する。
- 町民まちづくりワークショップ研修を開催(地域活動団体との連携、たら丸塾の開催)する。
- SNSを活用した情報共有コンテンツを提供(地域間交流、情報発信の推進)する。

進捗状況

[着手状況] 平成27年度より着手 <総務財政課(総務担当)>

○町内異業種交流研修の実施

[目的]

- * 町の中堅・若手職員と町内民間企業職員を対象に共通のテーマを設定し、研究・討議を行うことにより、異なる組織意識や多様な価値観に触れ、視野の拡大や参加者相互の交流・理解を深める。
- * 「岩内町人口ビジョン・総合戦略」の各種事業の効果的展開に向けた提言を行うなど、参加者の「まちづくり」に対する意識を助長する。

[参加人数] 22名(民間企業等 12名、町職員 10名)

[実施回数] 年3回(10/4、11/28、2/2)

H29予算額	305千円	H29決算見込額	221千円	H28決算額	218千円
--------	-------	----------	-------	--------	-------

[着手状況] 平成26年度より着手

<総務財政課(総務担当)>

○政策・合意形成能力開発研修助成事業

* 30代の町職員を対象とした政策・企画能力向上の研修を外部講師に委託。

[9/27 28名参加]

* 北海道市町村研修センターが主催する政策及び能力開発研修に参加。

5/25・26	女性職員スキルアップ研修	2名参加
8/17・18	折衝力・交渉力強化研修	1名参加
11/14・15	政策形成中級研修	1名参加

H29予算額	42千円	H29決算見込額	56千円	H28決算額	0千円
--------	------	----------	------	--------	-----

[着手状況] 平成27年度より着手

<総務財政課(総務担当)>

○地域間交流先進地事例研修の実施

公益財団法人北海道市町村振興協会の主催する先進事例研修に参加。

→平成29年度は不参加

H29予算額	59千円	H29決算見込額	0千円	H28決算額	0千円
--------	------	----------	-----	--------	-----

[着手状況] 平成30年度より着手予定

<企画産業課(企画担当)>

○UIJターン人材連携支援事業

ワンストップ窓口を通じて新規移住者のサポート体制を確保するほか、既に町内に居住する移住者の相談窓口としての機能を整備する。また、ワンストップ窓口の機能強化として、町内企業や職を仲介するなど、就労面のサポートを行う。

ワンストップ窓口が軌道に乗り、移住者情報が整理された後となるため、平成30年度着手予定。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—
--------	---	----------	---	--------	---

[着手状況] 平成26年度より着手

<総務財政課(広報担当)>

○広報広聴技術研修の実施

広報編集ソフトの更新に向けて、基本機能操作講習を受講。(7/10 2名受講)

H29予算額	38千円	H29決算見込額	38千円	H28決算額	27千円
--------	------	----------	------	--------	------

[着手状況] 平成28年度より着手

<企画産業課(企画担当)>

○町民まちづくりワークショップ研修の開催

* 岩宇まちづくり連携協議会広域観光部会主催による岩宇エリアDMOプラットフォーム構築事業の推進により、岩宇4町村の官民18名のメンバーによるワークショップを開催。北海道宝島旅行社をコーディネーターに、特色ある地域資源を掘り起こし、体験プログラムの商品化、夏、秋、冬と体験モニタリングツアーを実施。

・ 5/12	第4回検討会議	7名参加
・ 8/29	第5回検討会議	7名参加
・ 12/12	第6回検討会議	7名参加

* 地域のカプロジェクト「Gan-Wu Café」への参加

経済産業省が所管する「地域のカプロジェクト」において開催されるワークショップ

「Gan-Wu Café」は、地域の「自立自走」を目標とし、先進事例ゲストスピーカーの招聘、地域人材のネットワーク強化、地域の特産品を活用した商品化など、毎回テーマを変え、趣向を凝らしたワークショップを展開。

- ・ 6/3 第4回 Gan-Wu Café 3名参加
- ・ 7/21 第5回 Gan-Wu Café 3名参加
- ・ 10/27 第6回 Gan-Wu Café 6名参加
- ・ 11/21 第7回 Gan-Wu Café 3名参加

H29予算額	5,000千円	H29決算見込額	5,000千円	H28決算額	4,700千円
[着手状況] 着手時期未定 <総務財政課(広報担当)>					
OSNS活用情報共有コンテンツの提供 具体的検討なし。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	研修参加人数(官民協働)	20名
	H31目標数値	研修参加人数(官民協働)	50名
	H29見込数値	研修参加人数(官民協働)	54名

重点項目④: 若者や移住者向けの住環境等の充実を図る

- 若者・移住者向けの住環境の充実
- 地元企業・産業における人材確保に対する支援の強化
- 起業に対する各種支援の展開
- ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)の推進
- 既存施設等の有効利活用

- 就農支援による移住促進事業を展開する。
- 商店街連動型移住促進事業(空き店舗活用、起業支援策と連動した移住促進)を実施する。
- ライフスタイル応援型移住促進事業(自然・環境・子育て・趣味などライフスタイルと連動した移住促進)を実施する。
- 空き家、空き店舗、空き地などの不動産情報をデータベース化する。
- 助成制度メニューなどをデータベース化する。

進捗状況

[着手状況] 平成26年度より着手 <企画産業課(農林担当)>
平成28年度より着手ほか <企画産業課(企画担当)>

○就農支援移住促進事業

- *「次世代人材投資事業補助金」を活用し、新規就農者の農業経営開始を支援。
(経営開始から5年間、1人あたり年間1,500千円を交付) <農林担当>
- *「次世代人材投資事業補助金」制度について「岩内町移住情報総合サイト」で紹介し、活用を促す。

<p>* 地元農家の支援体制についても、実情の把握・整理に努め、就農による移住定住の促進について農業委員会と連携しながら検討を進め、移住者への就農支援・農業人口の増加を図る。また、今後実施予定の移住体験「ちょっと暮らし」において、農業体験の実施を検討。 <企画担当></p>					
H29予算額	3,000千円	H29決算見込額	3,000千円	H28決算額	3,000千円
<p>[着手状況] 平成28年度より着手 <企画産業課(商工労働観光担当)></p> <hr/> <p>○商店街連動型移住促進事業 「空き店舗活用支援事業補助金」制度を町外にも広く周知し、起業する移住者を支援。</p>					
H29予算額	3,200千円	H29決算見込額	3,200千円	H28決算額	0千円
<p>[着手状況] 平成29年度より着手 <企画産業課(企画担当)></p> <hr/> <p>○ライフスタイル応援型移住促進事業 * 「岩内町移住情報総合サイト」のコンテンツを拡大し、「しごと・遊び・生活・子育て」など、ライフスタイルに合わせた情報発信を行う。 * 今後も、ワンストップ窓口の機能強化と情報発信の充実を進めることで、ライフスタイル全般のサポートを応援する。</p>					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—
<p>[着手状況] 平成28年度より着手ほか <企画産業課(企画担当)> <企画産業課(商工労働観光担当)> <建設住宅課(建築担当)></p> <hr/> <p>○空き家、空き店舗、空き地などの不動産情報のデータベース化 * 平成20年度より町内の民間賃貸住宅の中で所有者より掲載要望のあった物件について一覧を作成し、町ホームページに掲載。 <建築担当> * 平成27年度に実施した空き家実態調査に基づき、空き家候補所有者(管理者)に対して利活用に係る意向調査を実施し、「しりべし空き家BANK」への登録意向者に登録を斡旋。 <建築担当> * 「岩内町移住情報総合サイト」に、「しりべし空き家BANK」や建築担当が整理する賃貸物件情報などをリンクし、「住まい」に関する情報を分かりやすくまとめて発信。 <企画担当></p> <p>[今後実施予定の内容]</p> <p>* 空き店舗情報 ・「空き店舗活用支援事業補助金」の活用促進に向け、整備予定の空き店舗情報を「岩内町移住情報総合サイト」内に掲載し、起業による移住を促進。 <商工労働観光担当></p> <p>* 空き地情報 ・「岩内町移住情報総合サイト」内に、平成29年度末運用開始予定の「岩内町空き地BANK」をリンクし、情報発信の充実を図り移住を促進。 <建築担当> ・町有地の宅地分譲に関して、「岩内町移住情報総合サイト」で情報発信することにより、移住を促進。 <企画担当></p>					
H29予算額	0千円	H29決算見込額	0千円	H28決算額	0千円

[着手状況] 平成28年度より着手

<企画産業課(企画担当)>

○移住定住助成制度のデータベース化

- * 移住定住促進パンフレットに支援・助成制度を掲載。
- * 「岩内町移住情報総合サイト」に支援・助成制度一覧表を掲載するほか、今後、新たに立ち上げる支援制度は、ホームページ上でトピックスに掲載するなど目立つ工夫をし、情報発信を積極的に進める。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—
--------	---	----------	---	--------	---

KPI	H26基準数値	転入者数	391人
	H31目標数値	転入者数	500人
	H29見込数値	転入者数	437人

重点項目⑤:移住・定住の促進対策の強化とニーズを捉えた情報発信を行う

●移住・定住対策と情報発信の多面的展開

<移住・定住促進事業>

□移住窓口のワンストップ化

- 移住相談窓口強化策として、移住関連窓口の一元化を行い、問い合わせ等にスムーズに対応できる体制を整備する。
- 移住支援制度の情報整理を行い、移住希望者に町の情報がわかりやすく伝わる体制を構築する。

進捗状況

[着手状況] 平成29年度より着手

<企画産業課(企画担当)>

- * 情報整理をもとに窓口を一本化。移住定住促進に関わる庁内各担当と連携を図り、対応フロー図の作成など、スムーズに対応できるようワンストップ窓口体制を強化。
- * 転入時の相談や手続きだけでなく、転入後のフォローを積極的に行い、移住者名簿の作成、町内情報の発信・周知等を実施し、移住者と地域の交流が円滑に行われるようサポート。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—
--------	---	----------	---	--------	---

□移住・定住情報の整備

- 町の移住支援制度や公共交通・医療施設・商業施設等の生活環境、町の魅力等の情報を整理し、パンフレットやホームページ、動画等のツールを整備する。
- 「全国移住ナビ」(総務省)、「北海道移住まるごと情報サイト」(北海道)等の移住情報サイトに町の情報を掲載し、既存のWEBサイトを活用した情報発信を実施する(町のホームページとのリンクも検討)。

○移住検討者に安心して岩内町を選んでもらえるよう、既に町に移住している先輩移住者の生の声を集約し、情報発信する。

進捗状況					
[着手状況] 平成28年度より着手			＜企画産業課(企画担当)＞		
* 移住定住促進パンフレットの更新 掲載内容の更新を行い(「Iwanai Resort」など)、東京や札幌の移住情報発信施設などに設置。 * 「岩内移住情報総合サイト」の整備 コンテンツ充実、クオリティ向上等を重ね、効果的な情報発信を実施。 * 既存WEBサイトの活用 「北海道で暮らそう！」(NPO法人住んでみたい北海道推進会議)、「全国移住ナビ」(総務省)など、移住情報サイトに掲載している町の情報を随時更新し、既存のWEBサイトを活用した情報発信を行う。 * 移住者インタビュー動画等の配信 岩内町移住者インタビュー動画(YouTube掲載)や、先輩移住者の生の声をさらに集約し、「岩内町移住情報総合サイト」に掲載することで、移住検討者が安心して岩内町を選んでもらえるよう情報発信力を強化。					
H29予算額	120千円	H29決算見込額	0千円	H28決算額	1,038千円

□移住定住に係る助成

○移住者に対する経済的支援として、引っ越し費用や家賃、住宅購入費等の助成制度を創設する。

進捗状況					
[着手状況] 平成29年度より着手			＜企画産業課(企画担当)＞		
* 企画担当、建築担当、評価担当、財政担当の庁内4部署が連携し、「住まい」についての支援制度を整備。 * 企画担当の助成制度(平成29年4月1日施行) <ul style="list-style-type: none"> ・引っ越し補助金 引っ越し経費の2分の1(上限100千円) ・住宅家賃補助金 賃借料から住宅手当等相当額を控除した月額額の2分の1(上限20千円) 					
H29予算額	3,400千円	H29決算見込額	3,400千円	H28決算額	—

□移住定住出張窓口の設置

○首都圏などで開催される移住合同相談会へ参加するとともに、首都圏の移住支援施設(「移住・交流情報ガーデン」や「ふるさと暮らし情報センター」)を活用し、セミナー等への参加や相談窓口を設置する。

進捗状況					
[着手状況] 平成29年度より着手			＜企画産業課(企画担当)＞		
<p>* 北海道主催の「北海道ウィーク」に参加し、首都圏在住者等に岩内町のPRを実施。 [11/10(金)、2組3名相談対応]</p> <p>* 北海道と北海道移住促進協議会が共催する「北海道暮らしフェア」に出展。首都圏在住者等に岩内町のPRを実施。 [11/11(土)、8組8名相談対応]</p>					
H29予算額	286千円	H29決算見込額	273千円	H28決算額	—

□移住体験の実施

○岩内町の移住体験ツアーを実施する(町内の空き家やコテージを活用し、一定期間、町内での暮らしを体験してもらうことにより、岩内町の良さを知ってもらう)。

進捗状況					
[着手状況] 平成30年度より着手予定			＜企画産業課(企画担当)＞		
<p>「岩内町移住情報総合サイト」に町内の宿泊施設一覧表を掲載し、移住体験「ちょっと暮らし」を実施する。食や遊びなどの町の魅力だけでなく、就業体験、農業体験などのメニューも検討し、就労面からの移住のきっかけづくりを進める。</p>					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	転入者数	391人
	H31目標数値	転入者数	500人
	H29見込数値	転入者数	437人

＜取得家屋に係る固定資産税の軽減＞

○移住・定住を目的に、家屋を新築または売買等で取得した転入者に対し、家屋に係る固定資産税を軽減する。

進捗状況					
[着手状況] 着手時期未定			＜税務課(評価担当)＞		
<p>新築住宅又は中古住宅を取得した者に対し固定資産税を免除することで、本町への移住定住の促進を図る。条例設定・事業実施に向け、関係部署との連携・検討を進めたが平成29年度の導入は見送り、平成30年度又は平成31年度に向けて制度導入を検討。</p>					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	転入新築数	3件
	H31目標数値	転入新築数	12件(H27～H31累計)
	H29見込数値	転入新築数	4件(H27～H29累計)

<町の情報発信の充実>

□創意工夫したホームページ・広報紙による情報発信

- 何が今求められている情報かを的確に把握し、ホームページ・広報紙に掲載する。
- より見やすく、より探しやすくなるよう、ホームページの検索性を向上する。
- ホームページの双方向性を活かし、地域内外の受信者発信型で情報発信する。
- 高齢者等のため、広報紙とホームページの適切な役割分担をする。

進捗状況					
[着手状況] 過年度より継続実施			<総務財政課(広報担当)>		
<p>求められている(提供したい)情報を把握し、より見やすくなるよう工夫してホームページや広報紙に掲載。広報紙で、地域の出来事を写真で掲載している「まちかどスポット」のコーナーをカラーページに移動。</p>					
H29予算額	8,430千円	H29決算見込額	7,955千円	H28決算額	7,749千円

KPI	H26基準数値	ホームページの閲覧数	月10,000件
	H31目標数値	ホームページの閲覧数	月15,000件
	H29見込数値	ホームページの閲覧数	月12,000件

□“岩内”を知ってもらう

- 「町勢要覧」を道内外の図書館や道の駅等に配架する。
- 年に数回「岩内」の新聞広告を掲出する。
- 岩内にゆかりのある有名人(中居正広・ディーン・中島みゆき等)より「岩内」を宣伝する。
- 「全国広報コンクール(広報紙、ホームページ)」への参加や他町村のホームページからのリンク、他雑誌への投稿などを実施する。

進捗状況					
[着手状況] 平成29年度より着手			<総務財政課(広報担当)>		
<p>平成28年度にリニューアルした「町勢要覧」を様々な機会に配布。</p>					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

□UIJターン情報の掲載

- ニーズが高い「住居」「雇用」「教育」「福祉」「先輩UIJターン者の声」「相談窓口」等の情報をホームページのトップページにバナーとして貼付するなどして情報を発信する。

進捗状況					
[着手状況] 平成29年度より着手			＜総務財政課(広報担当)＞		
町のホームページのトップページに、移住定住に関する情報を集めた「岩内町移住情報総合サイト」のバナーを貼り付け、情報発信を実施。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

重点項目⑥: 芸術や文化、スポーツといった生涯教育の推進を図る

<ul style="list-style-type: none"> ● 芸術・文化にふれあう機会の充実 ● スポーツ環境の充実 ● 地域の特色を活かした学習機会の提供

＜文化センター自主文化事業＞

- 後志管内最大規模のホールを有する文化センターを活用し、子どもから大人まで幅広い世代を対象とした公演等の企画・実施により、町民の芸術・文化鑑賞機会等の充実を図る。
- あわせて、文化センターを中心とした広域的な交流を促進し、街なかの求心力と賑わいを高める。

進捗状況					
[着手状況] 平成27年度より着手			＜教育課(社会教育担当)＞		
* 東京ブラスタイル「ジブリ・パーティー2017」開催					
[開催日]		8/20			
[会場]		岩内地方文化センター			
[入場者数]		373人			
H29予算額	1,389千円	H29決算見込額	1,348千円	H28決算額	1,293千円

KPI	H26基準数値	文化センター入館者数	41,598人
	H31目標数値	文化センター入館者数	70,000人
	H29見込数値	文化センター入館者数	38,000人

＜地域に根ざした文化活動の推進＞

- 文化センターをはじめ、木田金次郎美術館や郷土館などを活用した、サークル活動、ワークショップ、歴史講座などを開催する。
- 自主的活動で行われている文化・芸術団体の活動を支援し、町民の文化活動に参加する機会を充実させる。

進捗状況					
[着手状況] 過年度より継続実施			＜教育課(社会教育担当)＞		

* 岩内町文化団体協議会への支援 (補助金 200千円)					
* 岩内町郷土館の管理運営 (4,428千円)					
* 岩内地方文化センターの管理運営 (55,040千円)					
* 木田金次郎美術館の管理運営 (20,809千円)					
H29予算額	80,477千円	H29決算見込額	80,477千円	H28決算額	78,958千円

KPI	H26基準数値	文化センターサークル開設数	22講座
		岩内町文化団体協議会加盟団体数	32団体
	H31目標数値	文化センターサークル開設数	25講座
		岩内町文化団体協議会加盟団体数	35団体
	H29見込数値	文化センターサークル開設数	21講座
		岩内町文化団体協議会加盟団体数	31団体

＜トップアスリートとの交流によるスポーツ教室の開催＞

○道内のトップアスリートとの交流を行い、その一環として子どもたちのスポーツ環境の充実を図るため、スポーツ教室などの交流事業を展開する。

進捗状況					
[着手状況] 平成28年度より着手			＜教育課(社会教育担当)＞		

* 空手教室の開催					
[開催日] 平成30年2月17日、18日					
[会場] 岩内高校 格技場					
[講師] 忍会総本部 指導員 石塚 明日美					
[参加人数] 55名(町内の小・中・高校生)					
H29予算額	300千円	H29決算見込額	300千円	H28決算額	750千円

KPI	H26基準数値	スポーツ教室開催数	年0回
	H31目標数値	スポーツ教室開催数	年1回
	H29見込数値	スポーツ教室開催数	年1回

＜わいわいウィークエンド教室開催事業＞

○地元小学生を対象に、地域の産業や自然を活かした体験活動として、「わいわいウィークエンド教室」を実施し、親子が共に楽しく学べる機会を提供する。

進捗状況

[着手状況] 過年度より継続実施 <教育課(社会教育担当)>

* わいわいウィークエンド教室の開催

- 6月 魚釣り&料理教室
- 7月 親子登山体験(悪天候のため中止)
- 9月 岩宇魅力発見バスツアー(神恵内村:サクラマス養魚飼育場・童心(玩具)館)
- 10月 小学生玉入れ大会
- 11月 文化センターバックヤードツアー
- 12月 下の句カルタで遊ぼう

H29予算額	19千円	H29決算見込額	19千円	H28決算額	14千円
--------	------	----------	------	--------	------

KPI	H26基準数値	開催数	年8回、参加児童数	283人
	H31目標数値	開催数	年6回、参加児童数	300人
	H29見込数値	開催数	年5回、参加児童数	197人

<町民大学講座開催事業>

○成人の学習機会の提供を図るため、生活や文化等をテーマとした各種講座を実施し、自己研鑽と交流を推進する。

進捗状況

[着手状況] 過年度より継続実施 <教育課(社会教育担当)>

* 町民大学講座の開催

- 4月 開講式、ストレッチ運動
- 5月 調理実習「グループで楽しく作ろう」
- 6月 施設見学「苫小牧市:王子製紙 他」2回開催
- 7月 施設見学「余市町:旧下ヨイチ運上家 他」
- 8月 出前講座「高齢者に多い悪質商法と手口」
- 9月 講話「夏目漱石生誕150年・岩内転籍125年」
- 10月 エコクラフト「紙バンド手芸」
- 11月 閉講式 合唱

H29予算額	17千円	H29決算見込額	17千円	H28決算額	26千円
--------	------	----------	------	--------	------

KPI	H26基準数値	開催数	年9回、参加者数	289人
	H31目標数値	開催数	年9回、参加者数	350人
	H29見込数値	開催数	年9回、参加者数	227人

基本目標3 子育て支援の充実

重点項目①:子育て支援の充実を図る

●子育て世帯の負担軽減など子育て世帯への支援強化

<乳幼児等医療費助成事業の拡大>

○乳幼児等の医療費自己負担分を助成する本事業の対象年齢を拡大し、少子化・子育て対策を充実させる。

- ・平成28年7月までの基準 : ・通院 就学前 ・入院 小学校6年生
- ・平成28年8月からの基準 : ・通院 小学校6年生 ・入院 (据え置き)

進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <保健福祉課(医療保険担当)>

乳幼児等の医療費の自己負担額の一部助成について、平成28年8月診療分より対象年齢を拡大し、「小学生の通院医療費」も助成対象とする。

[平成28年7月までの基準] [平成28年8月からの基準]

通院 就学前まで → 小学校6年生
 入院 小学校6年生 → (据置)

H29予算額	16,037千円	H29決算見込額	16,010千円	H28決算額	11,092千円
--------	----------	----------	----------	--------	----------

KPI	H26基準数値	小学校児童数	580人
	H31目標数値	小学校児童数	550人
	H29見込数値	小学校児童数	550人

<子育て世帯応援カード発行事業>

○北海道が実施する「子育て支援パスポート事業(道事業名:どさんこ・子育て特典制度)」の特典制度の活用と町内商店街の協力によるたら丸ポイントカードの特典制度を併用しながら、子育て世帯の生活を支援する。

進捗状況

[着手状況] 着手時期未定 <保健福祉課(社会福祉担当)>

平成30年度以降の事業実施に向けて検討。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—
--------	---	----------	---	--------	---

<保育所における保育時間の延長>

○保育所の保育時間を朝・夕方ともに時間延長し、共働き世帯の時間的余裕の確保と送迎負担の軽減を図り、子育て世帯を支援する。

進捗状況					
[着手状況] 平成29年度より着手 ＜保健福祉課(社会福祉担当)＞					

標準時間保育の保育時間の延長。 [延長前] 8時00分 から 17時30分まで [延長後] 8時00分 から 18時00分まで(30分延長)					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

＜多子世帯保育料軽減支援事業＞

○保育料について、第2子目の軽減率(現状1/2)を見直し、多子世帯の経済的支援を実施する。

進捗状況					
[着手状況] 着手時期未定 ＜保健福祉課(社会福祉担当)＞					

平成30年度以降の事業実施に向けて検討。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

＜チャイルドシート購入助成事業＞

○満3歳未満の乳幼児等にチャイルドシートを購入する保護者に対し購入費の一部を助成し、子育て世帯の生活を支援する。

進捗状況					
[着手状況] 着手時期未定 ＜保健福祉課(社会福祉担当)＞					

平成30年度以降の事業実施に向けて検討。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

＜おむつ等育児用品助成事業＞

○満1歳までの児童に対し、おむつ等の育児関連用品の購入費の一部を助成し、子育て世帯の生活を支援する。

進捗状況					
[着手状況] 着手時期未定 ＜保健福祉課(社会福祉担当)＞					

平成30年度以降の事業実施に向けて検討。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	0歳～6歳人口	602人(全人口に占める割合:4.43%)
	H31目標数値	0歳～6歳人口	600人(全人口に占める割合:4.80%)
	H29見込数値	0歳～6歳人口	569人

<妊婦健康診査通院交通費助成事業>

○妊婦健康診査を受診する妊婦に対し、医療機関または助産所までの通院交通費の一部を助成する。

進捗状況					
[着手状況] 平成27年度より着手			<保健福祉課(健康推進担当)>		
<p>妊婦健康診査を受診する妊婦に対し、妊娠初期から出産に至るまでの間の医療機関又は助産所までの通院交通費の一部を助成。</p> <p>[助成額] 岩内町から医療機関所在地までの往復公共バス運賃に相当する額で、健康診査1回につき、1,420円、2,680円、3,500円の3区分で助成。 (上限3,500円)</p>					
H29予算額	2,216千円	H29決算見込額	2,216千円	H28決算額	2,035千円

KPI	H26基準数値	妊婦届出数	74件
	H31目標数値	妊婦届出数	96件
	H29見込数値	妊婦届出数	80件

<移住者、子育て世帯定住者、多世代同居・近居世帯に対する住宅取得助成等の支援>

○移住者や子育て世帯定住者若しくは、多世代同居・近居世帯(親世帯・子世帯どちらも対象)に対し、住宅建設を条件とする土地取得に対する助成制度を新設(1,000千円/件)する。

進捗状況					
[着手状況] 平成29年度より着手			<建設住宅課(建築担当)>		
<p>* 新築住宅取得補助金(平成29年7月より実施) 新築住宅の取得に要した費用の10%を補助(上限額100万円)</p> <p>[加算額]</p> <p>①転入者 50万円/戸 ②子育て世帯 20万円/人(最大60万円) ③同居・近居加算 10万円/戸 ④町内業者施工 50万円/戸</p>					
H29予算額	16,000千円	H29決算見込額	15,100千円	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	助成実績数	0件
	H31目標数値	助成実績数	8件
	H29見込数値	助成実績数	9件

< 移住者、子育て世帯定住者、多世代同居・近居世帯に対する中古住宅取得支援 >

○移住者や子育て世帯定住者若しくは、多世代同居・近居世帯(親世帯・子世帯どちらも対象)に対し、中古住宅取得に対する助成制度を新設(2,000千円/件)する。

進捗状況					
[着手状況] 平成29年度より着手			< 建設住宅課(建築担当) >		

* 中古住宅取得補助金(平成29年7月より実施)					
中古住宅の取得に要した費用の20%を補助(上限額50万円)					
[加算額]					
①転入者 25万円/戸 ②子育て世帯 10万円/人(最大30万円)					
③同居・近居加算 10万円/戸					
H29予算額	3,000千円	H29決算見込額	2,850千円	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	助成実績数	0件
	H31目標数値	助成実績数	8件
	H29見込数値	助成実績数	4件

< リフォーム支援 >

○移住者や子育て世帯定住者若しくは、多世代同居・近居世帯(親世帯・子世帯どちらも対象)のためのリフォームに対する助成制度を新設(200千円/件)する。

進捗状況					
[着手状況] 平成29年度より着手			< 建設住宅課(建築担当) >		

* 住宅リフォーム補助金(平成29年7月より実施)					
リフォームに要した費用の20%を補助(上限額20万円)					
[加算額]					
①転入者 10%(上限10万円) ②子育て世帯 20%(上限20万円)					
H29予算額	2,500千円	H29決算見込額	400千円	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	助成実績数	0件
	H31目標数値	助成実績数	20件
	H29見込数値	助成実績数	2件

< 家賃助成支援 >

○移住者や子育て世帯定住者若しくは、多世代同居・近居世帯(子世帯・親世帯どちらも対象)が町外から移住してきた場合、時限的(2~3年間)に家賃に対する助成を実施(15千円/月)する。

進捗状況					
[着手状況] 平成29年度より着手			＜企画産業課(企画担当)＞		
<p>平成29年4月より「岩内町移住定住促進補助金制度」を開始。町外から移住してきた子育て世帯が負担するアパート等の賃借料に対し、住宅手当等相当額を控除した月額額の2分の1(上限20千円)を交付。 (平成29年12月末時点 助成実績 14戸)</p>					
H29予算額	2,932千円	H29決算見込額	2,932千円	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	助成実績数	0戸
	H31目標数値	助成実績数	20戸(H27～H31累計)
	H29見込数値	助成実績数	20戸

重点項目②: 健やかな子どもの成長を支える教育環境を整備する

●健やかな子どもを育てる教育環境の整備

＜学習支援員等配置事業＞

- 学力の向上を図るため、学習支援員等を配置し、複数の教員による指導の実施により、きめ細やかな指導体制を構築する。

進捗状況					
[着手状況] 平成18年度より着手			＜教育課(学校教育担当)＞		
<p>○児童の基礎学力定着</p> <ul style="list-style-type: none"> * 従前から小中学校に配置していた、特別支援教育支援員(通常学級・特別支援学級で児童生徒の支援を実施する支援員)を小学校に集約し、学習支援員(小学校で必要とされる基礎学力の定着に努めるための支援員)として配置。 * 各小学校に複数名配置している学習支援員の内、学校の実情に応じ、2名の者をフルタイムとして雇用。 					
H29予算額	11,000千円	H29決算見込額	11,869千円	H28決算額	8,802千円

＜ICT教育の推進＞

- ICT教材の整備を進め、教職員の指導能力の向上などを図り、ICT教育の充実に努め、学力の向上を目指す。

進捗状況					
[着手状況] 平成27年度より着手			＜教育課(学校教育担当)＞		
○ICTの充実					
* 児童生徒の情報活用能力(インターネット・電子メールなどを利用し、ネットワーク上のルールやマナー、情報の必要性、危険性を習得)の向上並びに充実を目的として、情報教育用システムの充実を図る。(小学校 44台、中学校 84台 計 128台)					
* 中学校では、電子黒板機能付プロジェクターやタブレットPCの導入、無線LAN環境を新たに整備。					
H29予算額	8,047千円	H29決算見込額	8,047千円	H28決算額	4,695千円

KPI	H26基準数値	—
	H31目標数値	全国学力・学習状況調査平均正答率 全道平均以上
	H29見込数値	—

<教育支援教室設置事業>

○不登校の児童生徒に対し、学校生活に復帰を支援するため、様々な援助・指導を実施する。

進捗状況					
[着手状況] 平成28年度より着手			＜教育課(学校教育担当)＞		
○不登校児童生徒に対する支援の充実					
集団生活への適応や基礎学力の補充、生活習慣の改善等を支援し、学校復帰を目的とした教育支援教室(つばさ教室)を開設。					
H29予算額	683千円	H29決算見込額	446千円	H28決算額	265千円

KPI	H26基準数値	不登校児童生徒数	20人
	H31目標数値	不登校児童生徒数	10人
	H29見込数値	不登校児童生徒数	15人

<子ども絵本館運営事業>

○絵本に親しむことにより豊かな情操を育てるため、地域交流センター内に「子ども絵本館」を開館し、絵本の貸出を実施する。

進捗状況					
[着手状況] 平成12年度より着手			＜教育課(社会教育担当)＞		
* 子ども絵本館の運営					
[開館日] 毎週、月、水、金、土曜日					
H29予算額	955千円	H29決算見込額	955千円	H28決算額	950千円

KPI	H26基準数値	入館者数 2,739人
	H31目標数値	入館者数 4,000人
	H29見込数値	入館者数 2,000人

<ブックスタート推進事業>

○10ヵ月児健康相談に訪れる親子に絵本を手渡し、絵本の読み聞かせの指導と合わせて、絵本の効果を説明するとともに、年1回イベント「うきうき絵本フェスタ」を開催する。

進捗状況					
[着手状況] 平成17年度より着手			<教育課(社会教育担当)>		
○ブックスタート事業の実施					
* 10ヵ月児健康相談に訪れる親子に絵本を手渡し、読み聞かせの指導を行う。					
* イベント「うきうき絵本フェスタ」の開催					
[開催日] 9/17					
[会場] 岩内地方文化センター					
[内容] 影絵公演、絵本アルバムの配布、工作コーナーなど					
H29予算額	300千円	H29決算見込額	300千円	H28決算額	280千円

KPI	H26基準数値	イベント参加者数 0人
	H31目標数値	イベント参加者数 300人
	H29見込数値	イベント参加者数 158人

重点項目③:結婚支援による安心して家庭を持てる地域環境づくりを図る

●結婚支援などによる結婚数の増加

○町内等の団体が実施する婚活支援事業(婚活イベント等)に対して財政的支援を実施する。
○町内等の団体が実施する婚活イベントの広報周知の支援する(町のホームページに掲載等)。

進捗状況	
[着手状況] 平成27年度より着手	<企画産業課(企画担当)>
* 婚活支援事業への財政支援	
岩内青年会議所が開催する婚活パーティーに対し、町の補助金「まちづくり活動支援補助金」を交付することにより、財政面で開催を支援。	
《平成28年度の実績》	
[開催日] 3/25	
[参加者] 男性22名(町内16名、町外6名)女性19名(町内11名、町外8名)	
[カップル成立] 5組	

《次回開催》					
〔開催日〕平成30年秋頃予定					
* 婚活イベントの広報周知支援					
婚活パーティーの情報を町ホームページで広く発信することで、広報周知での集客支援を行う。					
H29予算額	200千円	H29決算見込額	—	H28決算額	200千円

KPI	H26基準数値	結婚数	49組
	H31目標数値	結婚数	60組
	H29見込数値	結婚数	47組

基本目標4 安全・安心な暮らしを守る

重点項目①:住民が安心して生活できる環境の充実を図る

●安心できる暮らしの確保

<防犯街路灯(LED化)対策事業>

○LED防犯街路灯を設置又はLED防犯街路灯に改良する団体等に、設置費の一部を補助し、LED化を推進する。

進捗状況					
[着手状況] 平成27年度より着手			<住民課(住民生活担当)>		
* LED防犯街路灯を設置又は改良する団体に対し、費用の4分の3、1灯あたり35千円を上限に補助。					
[補助実績] 111灯分(12月末時点 ※今年度末見込 140灯分)					
H29予算額	5,100千円	H29決算見込額	4,719千円	H28決算額	5,829千円

KPI	H26基準数値	各団体が管理する防犯街路灯のLED灯が占める率 6.8% (127灯)
	H31目標数値	各団体が管理する防犯街路灯のLED灯が占める率 50.0% (約920灯)
	H29見込数値	各団体が管理する防犯街路灯のLED灯が占める率 35.9% (673灯)

<紙リサイクル化事業>

○資源物収集の品目に「紙」を追加し、より一層のゴミの資源化を進め、循環型社会を確立する。

進捗状況					
[着手状況] 平成31年度より着手予定			＜住民課(住民生活担当)＞		
リサイクル実施の意義や効果を検証し、課題等を整理した上で、より効果的な実施方法を検討中。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	紙製容器包装の収集量	0トン
	H31目標数値	紙製容器包装の収集量	約80トン
	H29見込数値	—	

＜ふれあいゴミ収集事業(高齢者等個別収集)＞

- 高齢、病気、障がいなどの理由により、ごみ出し困難な世帯について個別に玄関先でゴミ、資源物を収集するとともに声かけを実施する。

進捗状況					
[着手状況] 平成31年度より着手予定			＜住民課(住民生活担当)＞		
来年度以降、他市町村の導入事例など資料収集し、具体的な検討を予定。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	収集件数	0件
	H31目標数値	収集件数	100件
	H29見込数値	—	

●防災に関する取り組みの強化

＜住民を守る防災情報の提供＞

- 様々な災害に備えるため、地域防災計画、原子力防災計画、防災マップ、原子力防災のしおりなどを常時見直しする。
- 防災に関する情報を、広報紙・ホームページをはじめ、様々な媒体を通して広く住民に周知する。

進捗状況	
[着手状況] 過年度より継続実施	＜総務財政課(防災担当)＞
<ul style="list-style-type: none"> *新たに「岩内町防災ハンドブック」を作成し、全戸配布(平成29年8月)。 *「地域防災計画」を改訂(平成29年3月)。 *「原子力防災計画」を改訂(平成29年9月)。 *消費生活展で防災パネル展示・防災備蓄品展示と保存食品の試食を実施。 *広報紙、ホームページ、防災行政無線で最新の防災情報を発信。 	

改訂した「地域防災計画」や「原子力防災計画」、北海道から公表された「津波浸水想定」をホームページに掲載。

H29予算額	1,974千円	H29決算見込額	1,915千円	H28決算額	1,434千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

KPI	H26基準数値	防災に関する広報紙・ホームページ等掲載回数	11回
	H31目標数値	防災に関する広報紙・ホームページ等掲載回数	17回
	H29見込数値	防災に関する広報誌・ホームページ等掲載回数	14回

<緊急避難所機能強化事業>

- 災害時に住民が少しでも安心して避難所で過ごせるよう、避難所に必要な最低限の電気を確保するため、非常用発電機(固定設置又は可搬型)を整備する。
- 食料・水・防災備蓄品は、最低限必要な数量を確保するが、民間業者等との災害時支援協定をより拡充して、必要な物資が迅速に手に入る体制を構築する。

進捗状況

[着手状況] 平成17年度より着手 <総務財政課(防災担当)>

- * 保存食品・保存水・防災備蓄品を計画的に購入。
- * 民間事業者等と災害時支援協定を新たに締結。
 - [町独自] 一般災害 5協定
 - 原子力災害 2協定
 - [道経由] 4協定(北海道が代表して協定を締結)

H29予算額	497千円	H29決算見込額	497千円	H28決算額	787千円
--------	-------	----------	-------	--------	-------

KPI	H26基準数値	非常用発電機のある避難所数	1箇所
		災害時支援協定数(道経由を含む)	72協定
	H31目標数値	非常用発電機のある避難所数	4箇所
		災害時支援協定数(道経由を含む)	77協定
	H29見込数値	非常用発電機のある避難所数	2箇所
		災害時支援協定数(道経由を含む)	87協定

<自主防災組織・人材育成事業>

- 地域住民の防災意識を高めるため、防災講習会や住民参加の防災訓練など実施し、自主防災組織の設立・育成を図るとともに地域の防災リーダーとなるべき人材を発掘・育成する。

進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <総務財政課(防災担当)>

- 住民参加型の一般防災訓練と防災研修会を実施。
 - * 地震・津波災害防災訓練・防災研修会
 - [実施日] 9/30 [参加者] 127名
 - * 土砂災害防災訓練・防災研修会

<p>[実施日] 11/18 [参加者] 16名</p> <p>* 避難所開設・運営のための実践型1泊訓練 [実施日] 9/1～9/2 [参加者] 職員2名</p> <p>* 岩内高校主催の防災学習会に講師を派遣 [実施日] 9/20 [参加者] 職員1名</p> <p>* 自主防災組織の設立に向けた原子力防災及・一般防災説明会 [実施日] 11/27 [参加者] 30町内会・自治会</p> <p>○町内会・自治会における現在の取組状況と今後の意向調査を実施。</p>					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	自主防災組織数	0団体
	H31目標数値	自主防災組織数	20団体
	H29見込数値	自主防災組織数	0団体

<防災に関する豆知識PR事業>

- 防災に関する知識をよりわかりやすく町民に伝えるため、広報紙や防災行政無線を活用し、【防災に関する豆知識！】といった親しみやすい形で情報を発信する。

進捗状況					
[着手状況] 平成30年度より着手予定 <総務財政課(防災担当)>					

* 広報紙での掲載に向け内容を検討。					
* 広報紙や防災行政無線、ホームページ以外の広報媒体も併せて検討。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	情報発信回数	0回
	H31目標数値	情報発信回数	6回
	H29見込数値	—	

<地域住民による身近な防犯対策>

- 犯罪のない安心して暮らせるまちにするためには、近所でお互いに気軽に声をかけあう防犯活動が効果的なため、防犯意識を高めるための広報・啓発活動(身近な声かけ運動など)を実施する。

進捗状況					
[着手状況] 過年度より継続実施 <総務財政課(防災担当)>					

犯罪が多発している、もしくは多発が見込まれる時期に、防災行政無線などによる住民啓発を実施。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	犯罪発生件数	85件
	H31目標数値	犯罪発生件数	65件
	H29見込数値	犯罪発生件数	65件

重点項目②:健康寿命の延伸を図る

●医療体制の確保や健康増進に向けた取り組み強化

<生活習慣病の重症化予防の徹底>

- 国保特定健診の受診率を向上させるため、個別訪問による受診勧奨や、医療機関からの医療情報の提供依頼を受ける体制を検討する。
- 受診者が増えることにより、保健指導を徹底し、生活習慣病の重症化を予防する。

進捗状況

[着手状況] 過年度より継続実施 <保健福祉課(健康推進担当)>

- * 国保特定健診の受診率向上のため、個別訪問等による受診勧奨を行う。
- * かかりつけ等で特定健診に類似した検査を受けていることを理由に特定健診を受診していない方に対し、特定健診に関する医療情報の提供を、本人に説明し同意を得た上で、医療機関から町に提供を受ける体制を構築。
- * 特定健診結果をもとにした保健指導を徹底し、生活習慣病の重症化を予防。

H29予算額	6,654千円	H29決算見込額	5,991千円	H28決算額	6,402千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

KPI	H26基準数値	国保特定健診受診率	22.9%
	H31目標数値	国保特定健診受診率	60.0%
	H29見込数値	国保特定健診受診率	27.5%

<がん検診の受診率の向上>

- 全死亡の3割を占めるがんの早期発見のため、年齢重点の個別案内や講演会などを行い、胃・大腸・肺・子宮・乳がん検診の受診率を向上する。

進捗状況

[着手状況] 平成28年度より着手 <保健福祉課(健康推進担当)>

- * がんの予防や検診方法等について掲載したパンフレットを作成し、対象者に送付。
- * 日頃からの事業参加者や来庁者にPR活動を実施。
- * 乳幼児相談等のために来場した母親に、がんの予防や検診に関するリーフレットを使用し、意識向上を図る。

H29予算額	315千円	H29決算見込額	301千円	H28決算額	274千円
--------	-------	----------	-------	--------	-------

KPI	H26基準数値	胃がん検診受診率13.8%、大腸がん検診16.8%、乳がん20.3% 肺がん検診15.1%、子宮がん19.3%
	H31目標数値	胃がん検診受診率40.0%、大腸がん検診40.0%、乳がん50.0% 肺がん検診40.0%、子宮がん50.0%
	H29見込数値	胃がん検診受診率9.8%、大腸がん検診13.1%、乳がん21.8% 肺がん検診11.8%、子宮がん16.6%

<地域の医療体制の維持・確保>

○地域の中核病院における医師不足が深刻化しているため、北海道や地元医師会、町民有志の会等との連携及び情報共有を図りながら、近隣町村と一体となり、医療体制の維持・確保に向けた支援に努める。

進捗状況									
[着手状況] 昭和48年度より着手 <保健福祉課(医療保険・介護保険担当)>									
地域の救急医療と小児医療の診療体制を維持するため、岩宇4町村で必要経費の一部を財政支援。									
[岩内町支援総額] 35,000千円									
<table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>救急医療分</td> <td>22,400千円</td> </tr> <tr> <td>小児医療分</td> <td>12,600千円</td> </tr> </table>						救急医療分	22,400千円	小児医療分	12,600千円
救急医療分	22,400千円								
小児医療分	12,600千円								
H29予算額	35,000千円	H29決算見込額	35,000千円	H28決算額	35,000千円				
[着手状況] 平成29年度より着手 <保健福祉課(医療保険・介護保険担当)>									
かねてから岩内協会病院に開設を要請してきた人工透析診療の開始にあたり、下水道整備と併せて下水道排水の水質改善を図るために必要な設備費の一部を、今年度に限り支援。									
H29予算額	4,752千円	H29決算見込額	4,752千円	H28決算額	-				

<在宅高齢者用紙おむつ購入費助成事業>

○要介護の認定を受け、紙おむつを使用している在宅高齢者に購入費の一部を助成し、経済的負担軽減を図る。

進捗状況					
[着手状況] 平成28年度より着手 <保健福祉課(医療保険・介護保険担当)>					
要介護認定を受け、紙おむつを使用する在宅高齢者に購入費の一部を助成し、経済的負担の軽減を図る。					
H29予算額	1,350千円	H29決算見込額	150千円	H28決算額	170千円

H26基準数値	介護サービス受給者全体に占める居宅介護(介護予防)サービス受給者数の割合(年報の比較) 60%
---------	---

KPI	H31目標数値	介護サービス受給者全体に占める居宅介護(介護予防)サービス受給者数の割合(年報の比較) 65%
	H29見込数値	介護サービス受給者全体に占める居宅介護(介護予防)サービス受給者数の割合(月報より) 62%

重点項目③: 町民が安心して暮らせる交通網を形成する

●既存公共施設ストックや交通網などの利活用、再構築

- 平成27年度中に策定する地域公共交通網形成計画に基づき、地域内の公共交通網を充実させる。
- 町内外を結ぶ既存バス路線との接続やそれら路線の将来的な運行方針も含めた一体的な検討を実施する。
- 北海道新幹線の開通や北海道横断自動車道の共和町延伸など、今後の交通網の充実要素も考慮する。

進捗状況

[着手状況] 平成26年度より着手 <企画産業課(企画担当)>

○地域公共交通網の維持・確保

「岩内町地域公共交通網形成計画」に基づき、地域内の公共交通網を充実させる。

* いわない循環バス「ノッタライン」の運行

平成28年10月より運行開始。ニセコバス(株)と町で運行協定を締結。町は運行に係る赤字補填を行う。平成29年4月より回数券の販売開始。

* 商店街との連携

いわないポイントカード会と連携し、回数券購入時にたら丸カードのポイントを付与(1冊15ポイント)。

* 岩内町地域公共交通活性化協議会の開催。

H29予算額	14,233千円	H29決算見込額	13,262千円	H28決算額	11,103千円
--------	----------	----------	----------	--------	----------

[着手状況] 平成28年度より着手ほか <企画産業課(企画担当)>

○既存路線バスの運行・廃止への対応

* 平成29年度末の岩内円山線廃止に伴い、町内の一部で公共交通の空白地域が生じることから住民ニーズを分析し、「ノッタライン」運行ルートの変更を検討。

* 町が沿線町村と連携し、運行支援を行っている「神恵内線」、「雷電線」の地域間幹線系統については、「後志地域生活交通確保対策協議会」の各分科会で沿線町村と連携を図りながら、路線再編や貨客混載など、生産性向上の協議を進める。

[過年度より長期継続実施中]

H29予算額	3,780千円	H29決算見込額	3,780千円	H28決算額	3,079千円
--------	---------	----------	---------	--------	---------

重点項目④: 空き家・空き地の利活用を促進する

● 空き家・空き地の利活用促進

< 空き家等対策計画の策定 >

- 「空き家等対策計画」を策定して危険な空き家の撤去や空き家等の利活用の促進を図るなど、空き家等の総合的・計画的な対策等を推進する。
- 適切な管理が行われていない空き家等が防災、衛生、景観など地域住民の生活環境に深刻な影響を与えないよう、その生活環境の保全を図る。

進捗状況					
[着手状況] 平成28年度より着手			< 建設住宅課(建築担当) >		

平成29年4月策定済					
H29予算額	0千円	H29決算見込額	0千円	H28決算額	2,592千円

KPI	H26基準数値	計画なし	進捗率	0%
	H31目標数値	計画策定	進捗率	100%
	H29見込数値	計画策定	進捗率	100%

< 除却支援事業 >

- 居住環境や地域活性化を阻害している老朽化した空き家等(特定空家等)の除却支援制度を新設し、活用可能な土地として再生(500千円/件)する。

進捗状況					
[着手状況] 着手時期未定			< 建設住宅課(建築担当) >		

事業着手に向け要綱を整備中。					
H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—

KPI	H26基準数値	除却実績数	0件
	H31目標数値	除却実績数	20件
	H29見込数値	除却実績数	0件

< 町営住宅用途廃止団地の除却 >

- 住宅用地の確保策として、町営住宅の用途廃止団地の早期除却を進め跡地を低価格にて分譲する。

進捗状況

[着手状況] 平成29年度より着手

<建設住宅課(建築担当)>

- * 平成29年4月改訂の「岩内町住生活基本計画」において『持ち家の取得等に向けた環境づくり』として、町営住宅の用途廃止団地跡地の低価格分譲を施策に位置付け。
- * 「岩内町公営住宅等長寿命化計画」に基づき、老朽化が著しい町営住宅について計画的に入居者の住替えを進めた上で除却を行う。

H29予算額	—	H29決算見込額	—	H28決算額	—
--------	---	----------	---	--------	---

KPI	H26基準数値	分譲実績数	0戸
	H31目標数値	分譲実績数	10戸
	H29見込数値	分譲実績数	0戸